

チバクロバネキノコバエ *Bradysia impatiens*

(Johannsen) (Diptera: Sciaridae) 幼虫に対する薬剤の簡便な調査方法

小林 政文

一般社団法人日本植物防疫協会茨城研究所

これまでにクロバネキノコバエ類によって施設園芸作物や露地野菜への被害が報告され、特に促成栽培のキュウリにおいてチバクロバネキノコバエの被害が大きいことが報告された。その他にも、温室メロン、リンドウなどの花き類、ショウガの被害も報告されている。近年では、イチゴ栽培においてもチバクロバネキノコバエ幼虫の被害が報告されている。本研究は、日本植物防疫協会茨城研究所で発生があったチバクロバネキノコバエで実施し、クロバネキノコバエ類の農薬登録試験における簡便な幼虫抽出方法と調査方法を開発するとともに本種の知見を得る目的で実験を行った。結果、本種の多くが株元周辺の土壌表面に生息しており、そこに生息する幼虫で評価することが可能であることが示唆された。さらに、これまで多くの時間を費やしてきた株を掘り取り、水洗して篩い分けを行う方法に代わり、採集した土壌をバットに広げ、エタノールを散布する簡便な方法で幼虫を抽出できた。それをを用いて、イチゴにおける実証調査を行った結果、いくつかの注意点はあがるが圃場での見取り調査によって幼虫を抽出し、評価を行うことができた。この方法によって、短時間で調査が可能となり、試験を簡便に実施できる。

Simple investigation method on pesticides in the Larvae of Black Fungus Gnat, *Bradysia impatiens* (Johannsen) (Diptera: Sciaridae)

Masafumi Kobayashi¹

¹Japan plant protection association, Ibaraki institute